

Ⅲ. 進路を導かれる聖霊

みことばを語る場所

(1) 彼らの計画

ガラテヤ州 ⇒ アジア州 (中心地はエペソ) 聖霊により禁じられた

フリュギア、ガラテヤを経て、ミシアの近くに来てピティニアへ進もうとした
イエスの御霊が許さなかった

(2) 神のご計画

ミシア経由でトロアスに下る

パウロの見た幻 = マケドニア人の懇願・叫び

トロアスはエーゲ海東岸の港町 (アジア)

マケドニア (ギリシャ) は向こう岸 (ヨーロッパ)

(3) パウロー一行の応答

人知を越えた神の導きと確信

彼ら (ヨーロッパ初) に福音を宣べ伝えるための召命

直ちにマケドニアに向かって出発

ここで、ルカが一行に加わる 「彼らは」 ⇒ 「私たちは」

いよいよ、イエス・キリストの福音がヨーロッパに伝えられる

Ⅳ. 結び

(1) 宣教の主導者は聖霊 (三位一体の神)

人間の計画と異なる

初めから、主のご計画が示されるわけではない

人間の側の試行錯誤を通して、順に明らかにされる

(2) 聖霊が禁じたのは、「みことばを語る場所」であって、「みことばを語ること」 をではない

(3) 律法の原則を揺るがせないで、しかも実践においては思慮をもって柔軟に

(4) 現代の世代にも、あちらこちらでマケドニア人の懇願の叫びが上がっている

自分のごく身近でも、主に助けを求めている人がいる。

聞き分ける耳と主の救いの福音を語る口が、私たちに備えられるように

(5) 主のみこころが分からない間は右往左往する しかし、

主のみこころと分かったら、ただちに行動する

(6) 次世代 (後継者、協力者) の養育